学校番号	１１０１

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	基礎英語総復習	2	第１学年	プレップイングリッシュ〔４訂版〕 英検分野別１０分ドリル３級

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・基本的な英語の力を身に付けることを心がけましょう。
・中学３年間の基本的文法事項と語彙を総復習し、英語の基礎基本を定着させることで、高校で学ぶ学習基盤を確立しましょう。
・様々な文や文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「聞く・話す能力」や「書く能力」を身に付けましょう。
・授業の後には内容の復習をし、提出物の期限は守りましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・日常的に必要なことがらについて、内容を聞き取ることができる。 ・ゆっくりはっきりと話されれば、自分自身や家族、学校などの身の回りのことに関する短い会話や説明を聞き、挿絵や写真などを参考にしながら理解することができる。	・基本的な語句や表現で書かれたごく短い物語を読み、挿絵等を参考にしつつあらすじ理解することができる。 ・身近な事柄について簡単な英語で書かれたごく短い説明を読み、挿絵や写真を参考にしながら概要を理解することができる	・相手のサポート（ゆっくり話したり、繰り返したり、簡単な語句に言い換えるなど）があれば、ごく身近なトピックについて、簡単な語句や表現を使って質疑応答をすることができる。	・簡単な語句や文を用いて、自分のことを紹介できる。 ・日常生活で必要な基本的な情報を他者に伝えることができる。 ・身近なトピックや出来事について、事実、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて短く話すことができる。	・自分についての基本的な情報を、簡単な語句や文を用いて書くことができる。 ・ごく身近なトピックについて、簡単な語句や文を用いて書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期	日本語と英語の違い Lesson1～8 ・単数複数 ・人称代名詞 ・形容詞と副詞 ・be 動詞 ・前置詞 ・There～構文	聞く	a: There is 構文を理解し、何がどこにあるのか聞き取ることができる。 b: 基本的な前置詞の意味を理解し、be 動詞文の内容を理解している c: 人称代名詞と基本的な前置詞の意味を知り、be 動詞文の内容を理解しようとしている。	授業内活動 ペアワーク等
		読む	a: 人称代名詞、単数複数の区別、基本的ン前置詞の意味を理解している。 b: 様々な短い文について、基本的な be 動詞文の意味をとることができる。 c: 様々な短い文について、基本的な be 動詞文の意味をとらえようとしている。	定期考査 小テスト
		話す	a: 形容詞や福祉の意味と用法を理解している。 b: 形容詞や副詞と名詞、動詞を組み合わせて用いて、身近にあるものを説明することができる。 c:身近にあるものを形容詞や副詞を使って説明しようとしている。	授業内活動 ペアワーク等
		書く	a: 基本的な be 動詞文、There is ～構文を理解している。 b: 基本的な be 動詞文、There is ～構文を理解して短い文を書くことができる。 c: 人称代名詞や前置詞の配置に注意して、英文を書こうとしている。	定期考査 小テスト
	第 1 中間考査			
	Lesson9～20 ・一般動詞 ・3 単現の s ・命令文 ・過去形 ・不規則動詞	聞く	a: 命令文の構造を理解している。 b: 命令文を聞いて、指示に従うことができる。 c: 話し手の命令文の意味を理解しようとしている。	授業内活動 ペアワーク等
		読む	a: be 動詞の文と一般動詞の文の違いを理解している。 b: 動詞の変化に注意して、過去形を用いた英文の意味を理解することができる。 c: 動詞の形によって、英文の意味の違いを理解しようとしている。	定期考査 小テスト
		話す	a: 命令文を作ることができる。 b: 身近な事柄について、命令文を用いて聞き手に指示を出すことができる。 c:身近な事柄について、相手に指示を伝えようとしている。	授業内活動 ペアワーク等
		書く	a: 一般動詞の規則動詞と不規則動詞の過去形を理解している。 b: 不規則動詞の過去形を書くことができる。 c: 一般動詞を使って、短い英文を過去形で書こうとしている。	定期考査 小テスト
	第 2 中間考査			
	Lesson21～32 ・疑問詞 ・進行形 ・助動詞	聞く	a: 助動詞を用いた依頼分の意味を理解している。疑問詞の意味を理解している b: 身近な設定で、話してから依頼されたり質問されたりした内容を理解することができる。 c: 身近な設定で、助動詞や疑問詞を用いた英文の趣旨を把握しようとしている。	授業内活動 ペアワーク等
		読む	a: 様々な助動詞の意味と進行形の意味を理解している。 b: 助動詞や進行形を用いた英文の意味を正しく読み取ることができる。 c: 助動詞や進行形を用いた英文の違いを理解しようとしている。	定期考査 小テスト
		話す	a: 助動詞を用いて依頼文を作ることができる。疑問詞の用法を理解している。 b: 身近な設定で、助動詞や疑問詞を用いて聞き手にものを依頼したり質問したりすることができる。 c: 身近な設定で、相手にものを頼んだり質問したりしようとしている。	授業内活動 ペアワーク等
		書く	a: 疑問詞を用いた疑問文の語順を理解している。 b: 様々な疑問詞を用いた疑問文を正しく書くことができる。 c: 疑問詞文や進行形の語順を正しく理解しようとしている。	定期考査 小テスト
	前期末考査			

後期	Lesson33～44 / ・現在完了形 ・受動態 ・関係代名詞	聞く	a: 一般動詞の過去分詞形を聞き取り、意味を理解することができる。 b: 現在完了形に特徴的な副詞(句)表現(for～,since～,already…等)を理解している。 c: 現在完了形に用いられる表現を理解しようとしている。	授業内活動 ペアワーク等
		読む	a: 受動態と能動態の関係を理解している。関係代名詞の用法について知識がある。 b: 受動態や関係代名詞を用いた英文の意味を理解することができる。 c: 受動態や関係代名詞を用いた英文の意味を理解しようとしている。	定期考査 小テスト
		話す	a: 現在完了形の動詞部分と副詞部分の意味を理解している。 b: 身近な設定で、自分や人の経験や動作の完了を表現することができる。 c: 身近な設定で、自分や人の経験や動作の完了を表現しようとしている。	授業内評価 ペアワーク等
		書く	a: 受動態のパターンを理解している。関係代名詞の用法を理解している。 b: 受動態の文を正しく書くことができる。正しい関係代名詞を選ぶことができる。 c: 受動態や関係代名詞の文中の位置を意識して、英文を作ろうとしている。	定期考査 小テスト
	後期中間考査			
	Lesson45～60 ・分詞 ・接続詞 ・不定詞 ・動名詞 ・比較	聞く	a: 現在分詞と過去分詞の意味の違いを理解している。 b: 名詞と分詞の結びつきを聞き取り、意味を把握できる。 c: 一般動詞の意味をふまえて動名詞のイメージを掴もうとしている。	授業内活動 ペアワーク等
		読む	a: 基本的な接続詞の種類と意味を理解している。 b: 接続詞を正しくつかんで分奏の意味を捉えることができる。 c: 接続詞による文と文のつながりを理解しようとしている。	定期考査 小テスト
		話す	a: 比較表現において、原級・比較級・最上級の基本知識がある。 b: 身近な事柄について、比較表現を用いて聞き手に伝えることができる。 c: 比較表現について、何と何を比べるのかに焦点を当て、表現しようとしている。	授業内活動 ペアワーク等
		書く	a: 不定詞の用法について基本的な知識がある。 b: 不定詞を用いて、行動の目的や感情の根拠を表現することができる。 c: 不定詞の位置に注意して、行動の目的や感情の根拠を英語で表現しようとしている。	定期考査 小テスト
	後期末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度